五瓣の椿（1964）

メディア 映画

ジャンル 時代劇 サスペンス ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 163分

初公開日 1964/11/21

【解説】

山本周五郎の同名小説を、井手雅人が脚色し野村芳太郎が監督。岩下志麻が亡き父の復讐に燃える女を熱演した。川又昂の流麗なカメラワークも評価されている。

天保五年、むさし屋喜兵衛の邸宅が全焼し、喜兵衛とその妻おその、そして娘のおしののものと見られる三人の焼死体が見つかった。数ヶ月後、人気三味線弾きの蝶太夫はおりうという娘に熱を上げていた。おりうは蝶太夫がむさし屋のおそのと関係があったことを知る。翌朝、蝶太夫の刺殺体が発見される。枕元には椿の花が置かれていた。婦人科の得石は、かつて彼はむさし屋のおそのと関係を持ち、彼女から得た金を元に開業したのだった。その得石が刺殺され、やはり椿の花が置かれているのが発見される。

【クレジット】

監督 野村芳太郎

製作 城戸四郎

杉崎重美

原作 山本周五郎

脚本 井手雅人

撮影 川又昂

美術 松山崇

梅田千代夫

音楽 芥川也寸志

出演 岩下志麻

田村高廣 Takahiro Tamura

伊藤雄之助

小沢昭一

加藤剛

早川保

左幸子

西村晃